



学校教育目標

勤勉で、正直に生き、感謝の心を持った、心豊かで健康な児童を育成する。

やさしく

かしこく

たくましく

評価や通知表について

保護者の皆様には、本校の教育活動に対して、日頃からご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。

さて、7月18日(金)に、1学期の通知表をお渡しします。そこで、通知表についてお知らせいたします。



※ 今年度、通知表のタイトル「わかい芽」を「通知表」というそのもののタイトルに変更しました。また表紙の写真も変更しました。ご承知おきください。

1 学習指導要領の趣旨に沿った本校の通知表について

- (1) 通知表は、児童の学校における学習や生活の状況を保護者の皆様にお伝えし、学校と家庭とで協力して児童の教育に当たることを目的として作成します。従って、この通知表は、お子さんを叱るための資料ではなく、励まし、伸ばしてあげるための手がかかり・努力の出発点としてご利用ください。
- (2) 学習評価については、「学習指導要領に示す各教科等の目標や内容に照らして学習状況を評価するもの」とします。
- (3) 3年生以上は、年度末に3・2・1の3段階で評定をつけます。

2 それぞれの教科の3つの観点について

- (1) 1つめは、「知識・技能」に関する内容で、主に「何を理解しているか、何ができるか」ということです。

新たな知識・技能が既得の知識・技能と関連付けられ、各教科等で扱う主要な概念を深く理解し、他の学習や生活の場面でも活用できるような確かな知識・技能として習得されているかという観点です。
- (2) 2つめは、「思考・判断・表現」に関する内容で、主に「理解していること・できることをどう使うか」ということです。

知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考・判断・表現を生かしているかという観点です。

(3) 3つめは、「主体的に学習に取り組む態度」に関する内容で、主に学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」ということです。

「粘り強い取組」、「学習の調整」、「学習を生活に生かす」等の態度があるかという観点です。

3 観点別学習状況評価について

(1) 評価の基準について

「A」…「大変よくできる状態」

学習指導要領に示された内容を大変よく達成している。

「B」…「おおむねできる状態」

学習指導要領に示された内容をおおむね達成している。

「C」…「もう少しという状態」

学習指導要領に示された内容を達成していない。

※1年生の1学期のみは、「できる」「がんばろう」の2段階で評価します。

(2) 評価の方法について

○授業中の活動や発表等の様子、作品やノート・プリントの記録、単元テスト・小テスト等の結果、実技等の記録等



4 年度末の3段階評定について（3～6年生）

(1) 評定の基準について

3…「十分満足できる状況」

2…「おおむね満足できる状況」

1…「もう少しという状況」

(2) 評価の方法について

1学期、2学期、3学期の観点別学習状況評価を総合して評定をつけます。

5 その他

(1) 道徳の評価について

児童の学習状況と成長の様子を評価します。児童がいかに成長したかを励ます個人内評価とし、記述式とします。

※1年生の1学期は、評価しません。

(2) 総合的な学習の時間の評価について

3観点を基に児童の学習状況の評価し、記述式とします。

(3) 外国語活動の評価について（3、4年生）

3観点を基に児童の学習状況の評価し、記述式とします。

